

# 幾代会観察会(2022年9月)のまとめ

## \*\* 幾代会2022年9月観察会 \*\*

- 日時 9月4日(日)
- ポイント:彼岸花を求めて
- 集合場所:青梅線 東青梅駅北口 マルフジ前
- 集合時間:9時50分
- 観察場所:霞丘陵と吹上ショウブ公園
- ルート:東青梅駅~吹上ショウブ公園~塩船観音寺(お昼)~霞丘陵自然公園~河辺駅

植物観察会



幾代会





◆参加者 宇津木さん、羽深さん、須崎さん、石川さん、岡さん、浅井さん、中部

さんと越前の8名です。下見 8月19日 4名

◆感想 参加者からの一言

浅井さん：雨に降られず天気が良かったが疲れた。

彼岸花に色々な色が有ることが分かった

石川さん；久しぶりに暑い中、皆さんと一緒に歩けた。

サルスベリの花の構造が面白かった。

羽深さん：今月も皆さんと歩け花を教えて貰えて良かった。

宇津木さん；ミゾカクシを初めて見た。

吹上に彼岸花が有ることが解りシュウカイドウの花の仕組みは面白かった。早速、別のガイドで使えるので勉強になった。

中部さん；歩けた。（腰痛を押して参加して貰いました）

ミゾカクシを久しぶりに見た。

岡さん；ミヨウガの花を取りあげてほしい（霞丘陵を出て徒歩で帰宅）

須崎さん；昨日はワクチンの4回目を受けてけだるいのでスイマセンが昼食後にバスで帰宅します。

越前； 花が見られないと思ったポイントのヒガンバナが少しですが咲いていて良かった。



◆9月の植物観察会のポイント

●サルスベリの生き抜く戦略

サルスベリは花卉、顎、長いおしべも6の珍しい植物です。幹は成長と共に表皮が剥がれて、ツルツルしていますが猿は名前にも関わらず登ることが出来ます。

《おしべについて》

サルスベリには長い6本の雄蕊と花の中心で雌蕊を取り囲んだ多数の雄蕊があります。

中心の多数の雄蕊は葯が黄色で良く目立ちますが、見かけ倒しのニセ花粉で虫をおびき寄せる仮雄蕊です。

8月に観察したツユクサも同じく仮雄蕊有り。花糸が長い6本の雄蕊は葯の色は黒茶色で受精に役立つ花粉を出します。



### ●シウカイドウの生き抜く戦略

シウカイドウは中国原産で江戸時代に渡って来た植物です。

葉は心臓形で左右非対称のいびつな形ですが、質が柔らかく赤味を帯びて綺麗です。

莖は分枝し淡い紅色の花をぶら下げて付ける。

左の写真のように雄花と雌花があり、雄花は花弁が二枚で其れより大きなガクが二枚で中心部に無数の黄色い雄蕊があります。

雌蕊は花弁が一枚でガクが二枚、雌蕊の先端が三つに分かれて渦巻いています。咲き始めは雄花ばかりで後から雌花が咲き、花の下に三角錐型の果実を

付け、自家受粉を防いでいます。

花後、葉の根元にむかごを付け地に落ち、新苗を作るので栽培は容易。

### ◆散策路の植物



暑いからと改札口で待っていた6名と、東青梅のマルフジ前で来ない〜と心配していた2名が定刻に無事に合流。

何気に久しぶりの仲間と、や〜やと言った和やかな雰囲気スタート。

吹上しょうぶ公園を目指して歩き始めると、珍しいエンジュの街路樹がプリップリッにくびれたサヤを付けていた。

早速、中部さんのステックを借り、枝をたぐり寄せ木陰でサヤの中味を確認。

マメ科なので丸いふくらみから一個の青臭いマメを観察。

「岡さん、昭和記念公園にこれより太いエンジュはありますか?」「見かけないな」大事に元気で育ってね。

中国原産で花蕾やサヤは生薬。

信号を左折してほどなく歩くと吹上しょうぶ公園の入り口。



沢沿いに白い実を付けだしたヤブミョウガで花弁と果実を調べ、ツククサの仲間であることを説明。

今は丸い5mmほどの果実が白色だが徐々にうす黄色→薄茶→褐色→黒紫→青藍へと日々、変化し成長する。



吹上ショウブ公園の池の手間で抜いても抜いても生えてくる憎らしいヤブガラシの花を説明。全員がヤブガラシの花を持ってフムフム～～。

雄蕊も緑の花弁も4で4数性。最初は花柱が短く、雄蕊がある雄性期で花盤の色はオレンジ、開花の翌日には雄蕊、花弁が落

ち、花柱が伸び柱頭が膨らんだ雌性期になり花盤の色はピンクになる。

何れの時期も花托が大きく育った平らな花盤には溢れるほどの蜜で虫を誘う。ヤブガラシの花はひとつ、またひとつと少しずつ咲いていき、開花期間が長い。7月初めから9月頃まで開花が続きます。

5mmにも満たない小さなヤブガラシの花も子孫を残そうと巧です。

続いてショウブ公園のベンチで水分補給の小休止。

スイレンやニラの花の説明をしていると車いすを押した親子らしい方が通りかかったので道を開けると「一緒に聞かせてください」と嬉しい申し出。



須崎さんがすかさずニラの白い花を摘んで渡しました。

何時もながら嬉しいほど、よく気が付きます。

咲き始めの彼岸花やキキョウの果実を観察。ショウブ公園を出ると大きな葉でバナナのような実を付けたバショウ、カンナのような葉を付けたジンジャーリリーが咲き出し。季節はコロナにも関わらず着実に移ろっています。

城山通りを左折して観音通りに入り塩船観音寺をめざします。

坂道を登りきると竹やぶの切通し。

どこからとなく「昔はこんな坂は訳が無か





ったのに」

ショートカットをするとマユミが紙風船のような形の実をドッサリと付けています。

紅い実になると綺麗でしょうね。超穴場ですよ。ほどなく塩船観音寺に到着。

仁王門をくぐりイチヨウの木陰でお弁当タイムです。

トイレの前の斜面には垂れ下がったピンクの花を付けたシュウカイドウがたわわ。

「前に説明したことが有るんだけど」と言ったら「忘れてるから大丈夫だよ」と優しいお言葉。

ポイントの説明をしました。

そして、お隣の霞丘陵自然公園では斜面に生えたワラビ採取を夢中で楽しみました。

本日の嬉しいお土産が夕飯を彩るでしょう。

池の水が流れ込んでいる湿地では観察会で初めてのミゾカクシが節から根を出し、ビッチリと溝をかくしていました。

それにしても下半分に花卉がカタマリ面白い形です。



花冠が5裂し裂片が1cぐらいでキキョウの仲間です。

帰りは宇津木さんの名ナビで方向音痴の私に



は解らない裏道を歩きました。  
おかげで超久しぶりに黄金色の垂れ下がった稲穂を見ることが出来ました。  
「田んぼ田んぼ～～食欲の秋です」  
育った富山では毎年、当たり前に見ていた懐かしい光景です。  
霞川の鳥井戸橋で今日の感想を貰い、三々五々と河辺駅に向かいました。  
今日も一日、暑いのに疲れ様でした。  
お陰様で季節を感じられた楽しい観察会でした。



塩船観音寺本堂の前でニッコリと集合写真！